



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1928, 10(2): 154-157

ISSUE DATE:

1928-08-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183470>

RIGHT:

ていかに學界を裨益しつゝあるかといふことを全く顧みてないのは遺憾である。しかし地質圖の方は著者の専門だから要領を得たものであることは申迄もないことである。検定試験をうけんとする初歩の人に手頃の参考であらうかと考へる。

(藤田)

雜報

○愛知地理學會第三回第四回例會

知女子師範學校にて開催

五月廿六日愛

一、相駿豆の交界地方の自然と人文 耕崎 正男氏
六月二十四日午後一時、第四例會を縣立第一高等女學校にて開會

一、支那に於ける鐵と石炭

徳田 孝氏

二、豆南諸島の瞥見

夏目 易治氏

徳田氏はスミスの調査に基きて意見發表、夏目氏は實地視察の結果をプリントにて説明。さてこの愛知地理學會のプリントはいかにも丁寧な大部なるので餘程の努力を拂つたものである。豪雨にかゝばらず參會するもの六十名、尙徳田氏は、『自然と人類』といふ本の趣味の地理書として價值があるといふことを紹介された、いづれは會員が讀んだ新刊物の紹介をもするやうにしたといふ話である。(耕崎報)

○上高地の風光

烏々から梓川谷を遡ること十數町の明ヶ平の部落の入口に、右手の路傍に長さ約四米、幅二米内外

の兩雲母花崗岩がある。其面は滑かで相應に深い擦痕がある。ヘットナー教授が氷河の遺物といつたためにヘットナー・ス・タインと稱せらるゝ小川博士及田中學士は此一帯を氷河公園と激賞した。稻核橋をわたると數丁で稻核部落になる、左右の山腹に風穴があつて蠶種貯藏所になつてゐる。尙進んで鵬雲崎の邊に古生代の粘板岩と花崗岩との明白な觸接がある。こゝから鉢盛山方面の一帯はこの花崗岩で、ヘットナー石の轉び出た本家である。

サンデ

崖下をすぎて右へ梓川俵ひに澤渡、中の湯を通つて進めば上高地大正湖畔にでる、又澤渡で左に分れると白骨温泉、大菩薩峠に出て机龍之助とお雪が冬籠した所になる。湯川左岸の鵬雲泉で古生層の上を石灰華が被つてゐる。湯川の浸蝕した隧道は俗にスイドよしと云つて長さ二百十二尺高さ七尺乃至二十二尺幅十九尺乃至五十尺を上下し、其天井から大小の鐘乳石が下る、諸川に柘榴狀又は鱗狀方解石があつて霰石といはれる。白骨温泉は石灰華が現に盛に沈澱してゐる。その種類が多く霰石も出來てゐる。今は活動を止めた噴湯丘が幾つもこのつてゐる。無色透明で硫化水素の臭がある攝氏四十二度内外のやゝ白く濁つた湯である。

上高地は梓川に沿ふたS字狀の高原で長さ四里幅十町内外面積一萬五千餘町歩、梓川が清々しく澄んで流れる。穂高六百、霞澤、燒岳等の連山の中にあつて、川原に珍奇の化粧柳が林立する、東亞特種の珍種で幼樹や若葉は白粉をつけてゐるので、この名がある。高原の中に三つの小池があつて岩

魚がとれる。又銀杏葉の梅花藻の生育地である、明神池、田代池、大正池三者各特色美をもつてゐる、海拔五千尺の高原で日本無双の稲穂高へ一日に登れる。梓川の水がいかにも明徹であり、温泉宿があつて、燒酎の噴烟の壯美と、其泥流のために出来た神苑の様な神々しい湖水とに接するならば誰もが日本にこんな山があるかと驚くに違ひない。

小島島水氏は云つた「若し完全なる天地の美の調和を見たい人は上高地の谷に佇んで穂高と梓川の池の夕日を浴びたまへ」と、こゝの高山性動植物の一般が知りたい人に予は矢澤氏の近著上高地をすゝめる。しかし定價二圓二十錢は土地の名と同様にペラボリに高い。

○三宅島について

島には事代主神が出雲からこゝに渡來されたといふ傳説があつて、祖神としてこれを祭つてゐる。徳川幕府時代は代官をして諸島と共に管轄、維新の變革にあたり、明治元年六月韭山藩の治下になり、四年十一月足柄縣に移屬し、九年四月静岡縣に移管し十一年十一月東京府に轉屬す、明治初年には戸長、島用掛、村用係の公吏を置き公務を處理せしが同十四年に及び地役人、名を一式引受人、年寄、浦役人をおき、島吏の職制を定め一島の事務所は島役所、一村の事務所は村役場といへり。

由來本島の地役人は祭政一致の制を取り、島の舊家主生氏の世襲なりしが、明治四十五年東京府の方針改まりて地役人を特選せり、大正九年十月島制布かれて大島々廳の管轄となり

隣の御藏島を併せて島廳出張所を設置せられたが、大正十五年七月一日官別改革により、東京府大島支廳三宅島出張所をおかれて今日に及ぶ。

東京から南百哩の太平洋上にありて東經百三十九度三十分北緯三十四度三分、その形狀圓く、中央は噴火のため突起す東西二里南北二里、周圍七里二十八町餘、其大さ伊豆七島中の第三位、中央雄山は海拔二千五百二十尺山頂一面の砂礫、中腹は鬱蒼たる森林、拓及桑の名木にとむ。土地種別段別左の如し。

	畑	宅地	山林	原野
神 着 村	九〇、八〇〇歩	三、九〇〇歩	三、五〇〇歩	二〇、七〇〇歩
伊 豆 村	七〇、七五〇	二、四〇〇	四、六〇〇	九、四〇〇
伊 ヶ 豆	三、四〇〇	一、八七五	一、八〇〇	一八、〇〇〇
阿 古	一三〇、二七五	五、九四三	二、九七五	四、五五五
坪 山	三、九四八	一〇、七四〇	五、六三三	七、四〇〇
御 藏 島	一四、〇五五	五、四七五	一、六八五	
合 計	二六〇、三三三	七、三九〇	二、四三三	一、〇〇一、六九三

其他合計五、三四八、九二二坪に達す。人口五、一〇二、世帯數一、三三九(大正十四年十月)農戶一、一七九、米麥甘蔗等農産物一四七、八九九圓、水産業者九五一人、水産價格二十二萬四千圓であるから水産就中海藻と鰹節の本場である畜産林産養蠶の中で、林産の栢、桑は十二萬圓、薪炭二萬圓位を出す、壬生氏といふ名と漁業氏族との間に關係があると

思はれる。(夏目報)

○日本栗の米國行

米國で消費せらるる栗は主として伊太利から輸入されてゐるが、近頃日本栗及支那栗が日本經由少量宛輸入されるやうになつた。一九二六年米國は二千五百八十九萬七千封度金額百二十六萬五千餘弗の輸入をなし内大部分は伊太利へ支拂はれたが日本から少量三十一萬封度價格三萬三千餘弗を入れた、日本からのものは大部分天津北京の産物で、純日本品は丹波栗、池田栗でこれは量が少い。生のまゝ輸入し、そのまゝ目方賣にする。伊太利から十一月に最盛んに入るが、日本のは少しく早い、大粒で美味であるけれども伊太利栗よりも虫が多い。桑港で日本人が北京栗を輸入し之をローストして直接米人に販賣してゐるが評判がよい日本品は昨年六千百弗を輸入したに過ぎぬ。栗の輸入は無税である。虫喰を除去する方法を講じ得たならば將來有望な市場を開拓しようと思はれる。

○米國の發達

米國の最近の繁榮、富力、事業經營の能率又は眞逆と思はれる程の勞資協調、それは全世界の稱讃と感動とを博した。然し他の一方に於て歐洲側は程度に於て多少の差はあるも、米國の未だ政治的に成熟しざること、及び政治的に無識なることを信じてゐた。一八七〇年普佛戰を経て獨逸帝國が建設さるゝや歐洲傳來の政治的機構は茲に崩解し大獨逸國の出現の前に歐洲の各國はその均勢を立てかねることに力を盡くしたが、一九一八年大戰の末期に米國は列

國中の最大強國として出現して、幾分これに翳霧たる形勢を示めした、しかし歐洲側は爾來十年間、米國はいづれ舊狀に立かへり、此上歐洲の合従連衡を妨得せぬやうになる。米國はたとへその富力は大であつても國際中には力を用ひないであらうと考へたのであつたが、しかしさうば間屋が卸してくれない。

最近になつて米國海軍長官ウィルバー氏が海軍擴張計畫を發表するや、今更の如く歐洲は驚いた。米國は英の海上權に挑戦した、向かも英國は此挑戦に應じ得ない。英國はトラファルガーに得た所をジュネーブに失ふと迄評した人が出てきた。米國のこの世界的強國としての行爲は、第一に聯盟によつてつくられた大戰後の平和維持の全機構を破壊することとなつた。聯盟國の規約にも違約開戦の罪がある國が出来れば聯盟全部が共同して之に膺懲を加へると規定した第十六條の規約が根本である。之を膺懲する手段は封鎖並に經濟的制裁である、封鎖に對しては主として英國海軍があたる。然るに米國はこれに同意せず、聯盟國でないからとて、禁制品の遮斷に協力しないで、飽くまで自己の優秀なる海軍力を頼んで、聯盟の封鎖を侵したとすれば、英國艦隊は伊、獨、佛等に對して何が出来るか？

されば米國は英の海上權に挑戦することによつて歐洲大陸式の平和維持策、特に巴里會議以後に發展した國際聯盟に對して致命的打撃を與へたといつてよい。米國がもし將來兩洋の海上權を握るとなれば、米國の意志は太平洋上に於ても等

しく優越的となるであらう。歐洲の軍縮會議は何等實績が上らずこのまゝにすゝめば、極力武備を張るものが世界中で最も安全な國になるのではないか。米國の提議した不戰條約案も最初米佛兩國の間のみであるならば、一方佛國には聯盟規約があつて、戰爭を以て平和維持の基調としてゐるけれども、今度米國の提議によつて英佛獨伊が相互的戰爭廢棄の宣言に於て米國に加擔したとすれば、數年の後獨逸が波蘭からダンチヒを回收するために武力に訴へたとき、佛國は萬事休することになる、伊太利とユーゴスラヴィアとの間の問題も再燃して兵を動かした時佛國は手が出せぬことになる。蓋し歐洲相互の間に如何様の外交の複雑があつても米國は知らざる眞似をして、海軍擴張に著手すると同時に不戰條約を提議し從來の聯盟を殆ど粉砕したかに見える現狀ではないか。

急速に膨脹せる米國の實力の前に歐洲自身は全然無力なるを感じつゝある。歐洲は一單位でなく、傳統的嫉視反目によつて分裂してゐると共に何れも米國にて將來借款を起すことに腐心する國々である。従つて米米國に關する限り默從の外はないのが實際である。茲に於て對米反感をもつ國々は周章と恐怖を混入して米國の南米政策を疑ひ、米國は新大陸全體を米國のみの私有財産視せんとする肚をもつと注意しだしてきた。

極東の平和に對しても、米國はいかなる問題を提げて日本に向つてくるであらうか。(國際時報三の一〇より抄録)

○ブラジル糖業の副産物ウズガ

ブラジル糖業の副産物として燒酎がつくられる。これをガソリン代用としてエーナルを温めて利用すると發火、爆發共にガソリンに優る、之を製造する會社の名の頭字をとつて Usuga といつて賣り出してゐる。レシフエ及マセオにてガソリン一立が九百レイスで賣られるに對して五百レイスの價で供給してゐる。ヘルナムブコ州政府では所有自動車の半數を動かしてゐる。これは數年來政馬で使用されてゐるものと原理は違はぬらしいがヘルナムブゴでは二三年來糖蜜の利用引合はす、之を川に流したのもある有様であつたのに、此新利用法が発見されて製糖家に福音を齎してゐる。右の製造工場はセラ・グランデに只一ヶ所あるのみで他の州では利用されてゐないけれども、石油に恵れない伯國に取つて大なる利益とされてゐる。我國に於てもかうした方面の研究が望ましい。

質疑應答

【問】 オデッサ港の近況 島根 T 生

【答】 この港は一七九三年に選定され、一七九四年九月起工、一八〇三年以後擴張一八六六年築港、當時外國船の來訪せるもの毎年千三百七十隻を超へ、沿岸航行船は二千隻に上れり、商港の發展に伴ひ市の設備も改善せられ花崗岩の鋪石路は自慢の種となれり、波濤事業は十九世紀の四十年代より一九一四年歐洲戰爭の開始期まで繼續、一九二二年復活現今